

株主メモ

- 決算期 3月31日
- 配当金受領株主
確定日 3月31日
なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが
できないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株式名義書換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所
(お問合せ先) 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) (証券代行事務センター)
電話03(3323)7111(大代表)
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 ☎0120-87-2031
ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



車と社会の未来を
グローバルに創造する



古紙配合率100%再生紙

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都太田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階

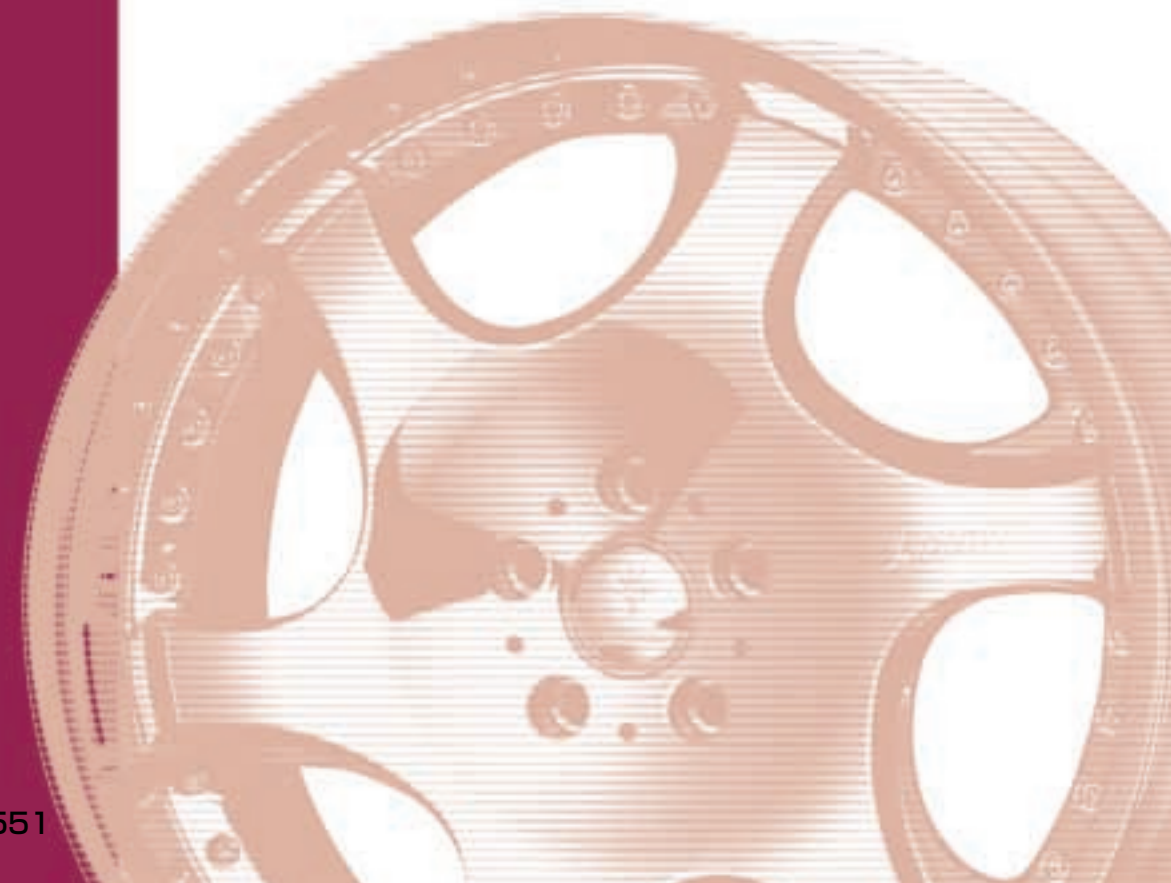
TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

41st

第41期 中間事業報告書 平成17年4月1日から平成17年9月30日まで

weds
株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

● トップメッセージ

経営理念

「ウェッズの永遠のテーマ、それはCHALLENGEです。」

私達は人と車の未来に向けて、常に新しく価値ある商品を創造し社会に貢献します。」

経営指針

「私達は、お客様最優先の営業方針と会社・株主・社員三位一体の取り組みにより、会社の繁栄と安定を追求して、株主利益の向上と社員のライフプラン充実に努めます。」



代表取締役社長 川口 修

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

この度、第41期中間事業報告書をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当中間連結会計期間の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の回復に伴い設備投資が増加し個人消費も上向きとなった結果、景気は懸念された踊り場の状況を脱して緩やかに安定した回復に向かっていくと見込まれるに至りました。

当上半期における自動車業界は、新車販売台数が前年同期を上廻りましたが、カー用品アフターマーケットの需要は依然低調で、厳しい市場競争のなかで推移しました。

こうした状況下、当社グループは全力を挙げた経営努力の結果、売上高と利益は計画をクリアしました。

これらの結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高9,895百万円、経常利益12百万円、中間期純利益36百万円になりました。当中間期の設備投資は129百万円であり銀行借入金等により賅いました。

通期の見通し

日本経済の見通しは、好調な企業業績が設備投資と雇用・消費を牽引した結果、緩やかながら息の長い成長を辿り、漸くデフレ脱却も視野に入る兆しが見えるに至っていますが、米国・中国等世界経済や国内消費が重要な鍵を握っており今後の動向が注視されます。

当社グループが主として属するカー用品のアフターマーケットにおいては、温暖化による冬季需要低迷等により競争激化して市場環境は更に厳しくなる見込みです。

当社グループはこの難局を勝ち残るべく経営諸課題に鋭意取り組む所存であり、通期の連結及び単体の業績見通しは、それぞれ以下のとおりであります。

(連結業績の見通し)

売上高 22,500百万円(前年比102%)
経常利益 270百万円(前年比117%)
当期純利益 130百万円(前年比123%)

(単体業績の見通し)

売上高 18,600百万円(前年比102%)
経常利益 230百万円(前年比140%)
当期純利益 120百万円(前年比210%)
※前記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おきください。

当中間連結会計期間の事業セグメント別業績

●自動車関連事業

当中間連結会計期間における自動車関連部門の売上高は、高中級アルミホイールの拡販等により前中間連結会計期間対比301百万円(3.8%)増加して8,141百万円となり、営業利益は同97百万円(-%)増加して8百万円となりました。

●開発事業

当中間連結会計期間における開発部門の売上高は、中央精機(株)海外工場向け機

械納入増により前中間連結会計期間対比587百万円(78%)増加して1,339百万円となり、営業利益は同36百万円(85%)増加して78百万円となりました。

●福祉事業

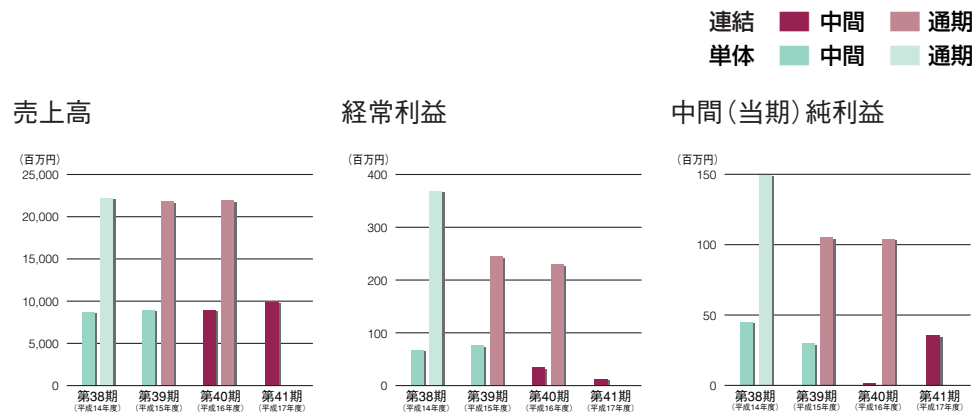
予ねて高齢者複合福祉施設を準備中でしたが、本年5月に開業致しました。当中間連結会計期間における売上高は66百万円、営業利益は開業初期費用の負担で初年度80百万円の赤字となりましたが概ね順調にスタートしました。

●その他

当中間連結会計期間における携帯電話代理店事業の売上高は、前中間連結会計期間対比7%増加して347百万円となり、営業利益は2百万円の赤字となりました。

平成17年12月

代表取締役社長 川口 修



●平成15年10月1日付で、流通事業本部(小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部)を子会社(株)バーデンに分社化しましたので、第39期に連結決算が復活しました。

セグメント別売上高・営業利益(中間連結会計期間)

		(百万円)				
		自動車関連	開発事業	福祉事業	その他	計
売上高	第41期中間	8,141	1,339	66	347	9,895
	第40期中間	7,840	752	—	323	8,896
営業利益	第41期中間	8	78	△80	△2	4
	第40期中間	△89	42	—	0	△47

グレイシャスビラ 安城



本年5月に事業開始した高齢者複合施設

● 中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要約) (単位: 百万円)

科目	第41期中間 平成17年9月30日現在	第40期中間 平成16年9月30日現在	第40期 平成17年3月31日現在
(資産の部)			
流動資産	8,374	8,401	7,590
現金及び預金	917	737	581
受取手形及び売掛金	3,039	3,281	3,431
たな卸資産	3,638	3,530	2,250
繰延税金資産	174	143	140
その他	630	729	1,204
貸倒引当金	△25	△21	△19
固定資産	4,323	3,959	4,377
有形固定資産	2,697	2,402	2,806
建物及び構築物	1,646	802	1,721
土地	934	1,019	1,020
建設仮勘定	59	511	—
その他	56	69	65
無形固定資産	47	25	23
投資その他の資産	1,579	1,531	1,547
繰延税金資産	15	13	14
その他	1,596	1,550	1,564
貸倒引当金	△32	△32	△32
繰延資産	7	5	8
資産合計	12,706	12,366	11,977

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科目	第41期中間 平成17年9月30日現在	第40期中間 平成16年9月30日現在	第40期 平成17年3月31日現在
(負債の部)			
流動負債	5,348	4,308	4,644
買掛金	2,117	1,889	1,561
短期借入金	2,653	1,612	2,052
その他	577	807	1,031
固定負債	1,432	2,245	1,415
長期借入金	824	1,762	888
繰延税金負債	145	32	55
退職給付引当金	277	273	276
役員退職慰労引当金	109	160	175
その他	76	16	19
負債合計	6,780	6,554	6,060
(資本の部)			
資本金	852	852	852
資本剰余金	802	802	802
利益剰余金	4,138	4,078	4,159
その他有価証券評価差額金	132	78	102
自己株式	△0	△0	△0
資本合計	5,925	5,812	5,916
負債・資本合計	12,706	12,366	11,977

中間連結損益計算書 (要約) (単位: 百万円)

科目	第41期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	第40期中間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	第40期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
売上高	9,895	8,896	21,890
売上原価	8,174	7,178	17,957
売上総利益	1,721	1,718	3,933
販売費及び一般管理費	1,716	1,765	3,762
営業利益	4	△47	171
営業外収益	38	99	172
営業外費用	30	17	114
経常利益	12	35	229
特別利益	81	27	30
特別損失	12	4	12
税金等調整前中間(当期)純利益	81	58	247
法人税、住民税及び事業税	10	40	118
過年度法人税、住民税及び事業税	—	12	12
法人税等調整額	35	3	11
中間(当期)純利益	36	1	104

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約) (単位: 百万円)

科目	第41期中間 平成17年4月1日から 平成17年9月30日まで	第40期中間 平成16年4月1日から 平成16年9月30日まで	第40期 平成16年4月1日から 平成17年3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	△282	993	1,672
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	122	△413	△792
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	506	△382	△838
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	△9	—	—
V 現金及び現金同等物の増減額	336	197	41
VI 現金及び現金同等物の期首残高	581	539	539
VII 現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	917	737	581

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

会社概要

商号 株式会社ウェッズ
WEDS CO.,LTD.
本社 東京都大田区大森北1-6-8
東伸24大森ビル6階
設立 昭和40年10月12日
資本金 8億5,275万円
従業員数 132名
業務内容 自動車用アルミホイール・スチール
ホイールを中心とした自動車部品・
用品の販売

役員

取締役社長 (代表取締役) 川口 修
常務取締役 谷越 時義
常務取締役 山口 義弘
取締役相談役 永井 秀哉
取締役 加藤 寛夫
取締役 大村 正夫
取締役 畑井 勇喜雄
取締役 伊澤 秀
常勤監査役 川崎 史博
監査役 清水 延能
監査役 本田 耕介

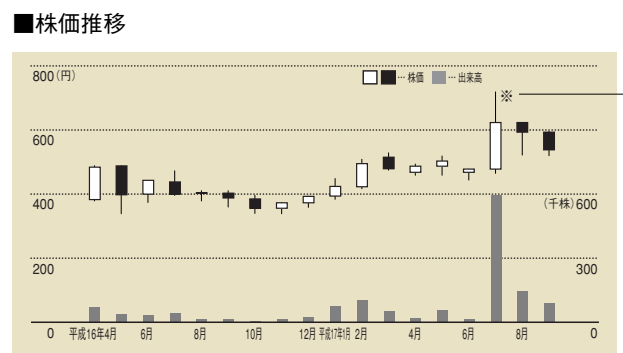
※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。
※監査役清水延能氏及び本田耕介氏は、「株式会社 監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

■ 会社が発行する株式総数17,780,000株
■ 発行済株式総数4,445,000株
■ 株主数1,049名

■ 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
石原 勝 成	250,059	5.63
株式会社UFJ銀行	222,000	4.99
ウェッズ従業員持株会	135,010	3.04
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星 野 肇	59,500	1.34
上 坂 良 夫	59,050	1.33



ウェッズオフィシャルホームページで
“ドレスアップカーコンテスト”実施!!

「ウェッズスプリングキャンペーン2005」の施策で、一般ユーザーを対象にした“ドレスアップカーコンテスト”をウェッズオフィシャルホームページ(以下HP)を使用し実施しました。
期間中(3月~6月末日)にHPにアクセスし応募頂いた中から、各カテゴリーごとに分かれ有名カリスマチ

ューナーに優秀賞を選んで頂くため、コンテストを行い沢山の応募があり、良い反響でした。
またこれにより、ウェッズHPアクセス数増大にも貢献でき、定期的なコンテストとして認知を高めウェッズユーザー数増大に繋げていきます。

セダン部門



ミニバン&ワゴン部門



スポーツ部門



※週刊誌P誌が
当社株推奨!

当社の株価は本年7月中旬に発行された週刊誌に10万円以下で投資可能な割安銘柄No.1として紹介された結果、2日間連続のストップ高を記録するなどピークは720円をつけ、それまでの400円台から急激な上昇を記録しました。また出来高も増え、9月末株主数は1,049名になりました。(本年3月末は688名)

“WedsSportセリカは
今期クラス総合7位で終える”

今年も主要サーキット並びに、海外のサーキットにて開催される全日本GT選手権改め「Super GT Race」に「WedsSport Racing Team with BANDOHO」にて参戦。
最終戦「鈴鹿サーキット」を健闘するも9位でフィニッシュ!今期クラス総合7位で終えました。
皆様沢山の応援ありがとうございました!!

